

県立病院経営中期計画の概要について

(計画期間：平成 22 年度～24 年度)

県立病院の役割：県の医療行政の延長線上にあって、その中核的実戦部隊としての役割を果たす。

基本方針 1：県の医療行政の中核的実戦部隊としての高度・専門医療の実施 (P12～P40)

がんセンター

中央病院・研究所 (P12～)

- 最新・最先端のがん医療の提供
- ・手術件数の増加を可能とする体制の構築
- ・外来化学療法の治療ベッド拡充のための外来化学療法棟の建設

(主な成果指標) (単位：人・件)

	20実績	24目標	対20比較
新入院患者数	9,561	10,038	+477 (+5.0%)
手術件数	2,761	2,950	+189 (+6.8%)
外来化学療法件数	15,975	22,000	+6,025 (+37.7%)

愛知病院 (P19～)

- がんセンター化の一層の推進
- がん患者の状況に応じた緩和医療の提供
- 結核、感染症への対応、へき地医療の支援の継続

(主な成果指標) (単位：人・件)

	20実績	24目標	対20比較
新入院患者数 (がん)	3,138	3,550	+412 (+13.1%)
手術件数 (がん)	539	740	+201 (+37.3%)
入院延患者数 (緩和ケア病棟)	6,661	6,900	+239 (+3.6%)
緩和ケア利用件数	—	960	+960 (皆増)

尾張診療所 (H22.10.1 設置予定) (P25～)

- がんセンター中央病院の乳がん検診と外来化学療法の一部を尾張西部地域で提供

(主な成果指標) (単位：件)

	24目標
乳がん検診実施件数	7,290
外来化学療法実施件数	4,860

城山病院 (P27～)

- 精神科医療体制の中核病院としての先進的な専門医療の提供
- ・精神科救急医療への対応強化
- ・思春期患者やストレス関連疾患患者への専門的対応
- ・国から強い要請のある医療観察法に基づく入院医療への対応
- ・機能を果たすための全面的な改築

(主な成果指標)

改築工事	計画期間内の着工
------	----------

循環器呼吸器病センター (P35)

- 尾張西部医療圏における医療水準の確保のための機能移行及びそれに伴う施設の廃止

あいち小児保健医療総合センター (P36～)

- 小児保健医療の専門施設としての高度で先進的な小児医療の提供
- 土曜日の夜間、日曜及び祝日の小児救急医療の提供

(主な成果指標) (単位：%・人・件)

	20実績	24目標	対20比較
病床利用率	65.7	80.0	+14.3
新入院患者数	4,398	5,080	+682 (+15.5%)
手術件数	1,613	2,200	+587 (+36.4%)
救急車搬送受入件数	222	570	+348 (+156.8%)

基本方針 2：安心・安全でより良質な医療の提供 (P41～P44)

- 安心・安全でより良質な医療を提供できる体制づくりのため、医師・看護師を始めとする医療従事者の人材確保と能力・技術力の向上に努める。
- 安心・安全でより良質な医療の提供のため、引き続き、医療安全対策、個人情報保護対策の推進に努める。

基本方針 3：経営改善の推進 (P45～P56)

- 病院部門において、良質な医療を確保しつつ、経常黒字の達成を目指す。
※病院部門：病院事業のうち収益でその支出を賄う構造のない非病院部門（がんセンター研究所、小児センター保健部門、循環器呼吸器病センターの後利用以外の部分）を除いたもの

収支計画 (差引損益)

	20 決算	21 決算見込	24 見込
全体	△20.9 億円	△19.1 億円	△3.7 億円
病院部門	△19.9 億円	△16.3 億円	1.4 億円

経営指標 (平成 24 年度の見込) (単位：%)

	経常収支比率	職員給与費対 医業収益比率	病床利用率
中央病院	103.8	45.6	88.0
愛知病院	90.8	66.6	80.4
尾張診療所	82.7	44.2	
城山病院	92.4	※1 131.1	※2 72.8
小児センター	102.6	59.2	80.0

※1 医療観察法病棟の準備要員の給与費増を見込んでいる。
※2 改築に係る一部病棟の閉鎖による患者減を見込んでいる。

